



ASAHI University News Letter

vol.146

July 2023

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 総務部



朝日大学HP

2024年度 入学者選抜方法決まる

今日、わが国をとりまく社会情勢や環境は日々刻々と変化し、新型コロナウイルス感染症も漸く沈静化の兆しが見えつつあるものの、少子高齢化社会の本格到来、泥沼化した国際紛争など、依然として厳しい状況下にあります。

朝日大学では、これからも教育・研究・医療の質の向上を目指し、ステークホルダーである在学生や高校生、その保護者、また、地域社会の皆様から信頼いただける「大学づくり」に邁進してまいります。



歯学部新5年生の登院式

2024年度入学試験日程が決まる

朝日大学では、入試制度改革・高大接続改革推進に伴い、学力の3要素などを総合的に評価するため、多彩な選抜方法による入試を実施しています。「選ばれる大学、魅力ある大学」づくりが、より一層進むこととなります。

区分	名 称	期・日程	学部学科	試験日	募集人員				
					法	経	看	健	歯
総合型選抜	信 長	I	全	10月15日(日)	3	4	7	3	7
		II	看・歯	11月11日(土)	/	/	3	/	3
		III	法・経・健	11月12日(日)	2	3	/	2	/
		IV	全	12月9日(土)	2	2	2	2	2
	特別選抜	I	全	1月26日(金)	若干	若干	若干	若干	若干
		II		2月22日(木)	若干	若干	若干	若干	若干
		III		3月14日(木)	若干	若干	若干	若干	若干
		IV		3月22日(金)	若干	若干	若干	若干	若干
学校推薦型選抜	指定校推薦		看・歯	11月11日(土)	22	30	26	15	31
			法・経・健	11月12日(日)					
	一般推薦	I	看・歯	11月11日(土)	11月11日(土)※1 11月12日(日)	22	30	26	15
		II	全	12月9日(土)					
	スポーツ推薦 吹奏楽推薦 高大接続推薦 (会計/マーケティング)	I	法・経・健	11月12日(日)	15 19 1月26日(金) 2月22日(木)	15 19 43	/	/	/
		II	法・経・健 <small>高大接続推薦は 経営のみ</small>	12月9日(土)					
		III		1月26日(金)					
		IV		2月22日(木)					
一般選抜	一般	I A	全	1月24日(水)	15	18	24	30	55
		I B		1月25日(木)					
		I C		1月26日(金)					
		II		2月22日(木)		3	3	2	7
		III		3月14日(木)		2	3	2	5
	大学入学 共通テストプラス	I	全	一般Ⅰ期受験	3	4	2	2	2
		II		一般Ⅱ期受験	2	2	2	2	2
		III		一般Ⅲ期受験	2	2	1	2	2
	大学入学 共通テスト利用	I	全	一般Ⅰ期と同日程※2	5	5	5	3	8
		II		2月22日(木)※2	2	3	2	2	2
		III		3月14日(木)※2	2	2	2	2	2

法…法学部法学科、経…経営学部経営学科、看…保健医療学部看護学科

健…保健医療学部健康スポーツ科学科、歯…歯学部歯学科

※1 基礎学力型は11月11日(土)、小論文型は11月12日(日)。

※2 歯学部のみ試験を実施し、他学部は個別試験を課さない。

2024年度 受験者向け資料が完成

大学案内パンフレット、入試ガイド、赤本などを無料配付しています。

ご希望の方は、お電話やホームページからご請求ください。

[お問い合わせ先] 入試広報課 TEL 058-329-1088
E-Mail nyuusi@alice.asahi-u.ac.jp



学生生活をサポートする充実した奨学支援制度

「歯科医師」という夢をかなえるための教育システムと独自の奨学融資制度。

真の知識と技術、そして優しい心を持つ「看護師」の養成を行う保健医療学部看護学科の奨学支援制度。

今日のきびしい経済情勢やコロナ禍においても「だれもが同じスタートラインに立てる」よう整備・充実した法学部・経営学部・保健医療学部健康スポーツ科学科の奨学支援制度。

だれもが同じスタートラインに立てる

朝日大学は、全学部生対象の「診療費補助制度」、「学資借入支援奨学金制度」及び「奨学融資制度」を、また、各学部独自の奨学支援制度を拡充することで、修学環境や学生生活を万全な体制でサポートしています。

支援制度の詳細については、ホームページ、大学案内、入試ガイド、学生募集要項などでご確認ください。

高大接続講演会を開催!

高校と大学が協力して、一貫した人材育成を目指す

2023年度高大接続講演会が、都ホテルで6月2日に開催され、岐阜県を中心に約30名の高校教員が参加しました。講師には文部科学省高等教育局高等教育企画課から柿澤雄二企画官をお招きし、「高大接続改革の方向性～地域の若者の成長をシームレスに支える教育の在り方～」と題し、高大接続についてご講演いただきました。参加者からは、全国の先進的な取り組みが紹介され学校運営にも大いに役立つ内容であった、との感想が寄せられました。



柿澤雄二文部科学省企画官による講演

故宮田慶三郎先生を偲び「慶夢忌」

朝日大学の創立者故宮田慶三郎先生の功績を偲び、先生の命日(5月22日)に近い5月25日に、中庭にある故宮田慶三郎先生胸像前で、「慶夢忌」が行われました。参列者の默祷に続き、宮田淳理事長をはじめ教職員や学生の代表が献花をしました。

「慶夢忌」は、故宮田慶三郎先生のご功績や優しいお人柄を偲ぶとともに、先生の残されたお言葉を心に刻み、建学の精神を再確認する機会として毎年開催しています。



歯学研究科院生代表(前田千馨代さん)による献花



参列者全員で故宮田慶三郎先生胸像を囲んで

White Coat Ceremony 2023

歯学部登院式を実施

歯学部5年生の登院式(白衣授与式)が、4月8日に穂積キャンパス6号館6201大講義室で厳粛に行われました。この登院式は、5年生が参加型臨床実習を始めるにあたり、その第一歩を踏み出す節目の行事として、毎年実施されています。

登院式冒頭の田村副学長からの「登院の許可」及び式辞、玉置歯学部長からの激励に続き、登壇した5名の学生代表に、白衣と「Student Dentist認定証」が、田村副学長、玉置歯学部長、藤原医科歯科医療センター長、永山教務学生委員長及び河野臨床実習センター長より授与されました。



田村副学長による登院許可と式辞

医療人としての決意表明

全学生が気持ち新たに白衣を身に纏う中、学生代表の高山由衣さんから「臨床実習を開始するにあたり、臨床実習生として社会的責任を常に自覚し、積極的に臨床実習に参加していく」旨の宣誓が行われ、いよいよスタートする参加型臨床実習への素晴らしい門出となりました。



高山由衣さんの決意表明

エコプロジェクト 「Cool Biz」始まる

朝日大学では、2009年度から大友克之学長のもと、「建学の精神」に基づき全学で「エコキャンパスプロジェクト(地球温暖化防止策)」を展開(「Cool Biz」「Warm Biz」「省エネルギー対策」)しています。

「朝日大学×SDGs in GIFU」宣言

2019年12月に「朝日大学×SDGs in GIFU」を宣言、教育・研究・医療活動・地域貢献を通じ、ここ岐阜瑞穂の地から「持続可能な世界の実現」に向けAction(行動)を開始しています。現在の各学部・学科における取り組みを紹介します。

～法学部～ 安全でクリーンなまちづくり

岐阜県唯一の法学部として、防犯や防災に対する意識を高く持ち、地域における犯罪率を低下させるなど、安心・安全なまちづくりに貢献します。



～経営学部～ 地域における経営人材の輩出

経営的知識を活かして、公認会計士の輩出や、産学連携を通じて地域企業の経営を支えます。



～保健医療学部看護学科～ 安全で質の高い医療提供と地域連携

地域連携し、だれもが住みよいまちづくりに貢献できる看護専門職者を育成します。



～保健医療学部健康スポーツ科学科～ スポーツの力で社会に貢献

大学が集いの場、交流の場となり、スポーツを通じて地域の健康長寿実現に貢献します。



～歯学部～ 医療を通じた健康長寿の実現

多様な医療ニーズに対応できる歯科医師を養成し、歯科医療を取り巻く社会課題を解決します。



春の叙勲を受章

「瑞宝小綬章」

令和5年（2023年）春の叙勲において、本大学の名誉教授である大島等先生が「瑞宝小綬章」を受章されました。

大島等先生は、経営学部教授として本大学での永きに亘る教育、学生部長として大学運営に尽力された功績等が高く評価されました。

先生の今後益々のご活躍を祈念いたします。



大島等先生（名誉教授）

歯学部交流校シェナ大学と学術交流協定を更新！

15年以上続くシェナ大学との国際交流

3月28日、本大学歯学部の交流校で、2008年から学生の相互派遣を行っているイタリアのシェナ大学より、マルコ・フェラーリ歯学部長（補綴学及び歯科材料学主任教授）が朝日大学法人本部（東京）を訪問し、宮田理事長、大友学長及び明海大学安井学長と懇談しました。これまでの3大学交流を評価し、今後の展開について議論した後、学術交流協定を更新するため、協定書に署名をして取り交わしました。

なお、このコロナ禍のなかでも、本大学は昨年12月にシェナ大学より学生2名、教員1名を受け入れ、そして今年3月3日から10日まで、本大学歯学部5年生の2名が、明海大学歯学部と合同で、シェナ大学歯学部で研修を行っています。

今後も朝日大学は、建学の精神に立脚して大学の国際化を推進していきます。



署名する宮田淳理事長



明海大学も交えた3大学で学術交流協定を更新



署名するシェナ大学
マルコ・フェラーリ歯学部長

海外の大学から短期海外研修生を受入れ!!

「さくらサイエンスプログラム」の支援を受けて

本大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の国際交流事業「さくらサイエンスプログラム」の支援を受け、3月6日から11日まで南アフリカ共和国のウェスタンケープ大学（UWC）歯学部及び地域保健学部看護学科の研修生一行（教職員3名、学生10名）を、また、3月7日から13日まで北京大学看護学院（中国）の研修生一行（教職員2名、学生8名）を受け入れました。看護学科では今回が「さくらサイエンス」による初めての受入れとなりました。

両大学との国際交流は新型コロナウィルス感染症拡大により延期となっていましたが、この間、オンラインでの交流経験を経て、今回の来日となりました。本大学での講義や実習に加え、日本の異文化も体験することができました。



北京大学看護学院との交流



ウェスタンケープ大学との交流

テキサス大学、カリフォルニア大学との交流

3月12日から15日まで、本大学との文化学術交流協定校であるテキサス大学サンアントニオ校（アメリカ）から教員2名と学生10名を、また、3月24日から4月1日まで、同カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）から教員2名と学生10名を、短期研修学生としてそれぞれ受け入れました。

両大学との交流は今年度で共に25回を数えるまでとなり、今後も両大学との友好・交流をより一層発展させていきます。



テキサス大学との交流



カリフォルニア大学との交流

法学部・経営学部 学生短期海外研修を再開!

法学部学生・経営学部学生がベトナムの日系企業を訪問

2月20日から24日まで、本大学法学部及び経営学部の学生が、新型コロナウィルス感染症発生以降3年ぶりのベトナムでの短期海外研修を実施しました。連携関係にある濃飛倉庫運輸株式会社の協力により日系企業5社（6拠点）を訪問し、現地の政治・経済や各社の事業展開を学ぶとともに、作業現場等を見学しました。

高成長を続けるベトナムの活気を肌で感じ、大きな刺激を受けるとともに、この経験をこれからの学びに繋げていきます。



濃飛（ベトナム）ロジスティクス
保税倉庫の見学



NIPPON NOTE BOOK VIETNAMの見学

地域振興・产学連携を加速!

各務原市と連携・協力に関する協定締結

3月30日、各務原市と朝日大学が、「各務原市と朝日大学との連携・協力に関する協定」を締結し、浅野健司市長と大友克之学長が協定書に署名しました。

今回の協定締結は、学生の就職活動や人材育成、産業振興の面で相互協力することを目的としており、今後は学生と市内企業とのマッチングの機会拡大のため、合同企業説明会や市内企業見学会などが計画されています。

株式会社鈴木栄光堂と産学連携活動に関する包括的協定締結

3月29日、株式会社鈴木栄光堂と朝日大学が、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的として、産学連携活動に関する包括的協定を締結しました。これまでの協働事業に加え、これを機により一層連携を円滑かつ効率的に推進し、地域産業の振興など更なる地域社会貢献に邁進していきます。



協定締結式での浅野健司市長
(左)と大友克之学長



協定締結式での集合写真

「医療経営士養成プログラム」を開講

地域社会連携講座

本大学では、株式会社大垣共立銀行との連携協力を基に朝日大学病院西館ホールを会場として、「医療経営士3級」合格を目指す「地域社会連携講座－医療経営士養成プログラム」を開講しています。

文部科学省及び厚生労働省から認定

このプログラムは、文部科学省「職業実践力育成プログラム」及び厚生労働省「教育訓練給付金（専門実践教育訓練）指定講座」に認定されています。本大学と同行との産学連携協定に基づく事業の一環として、「医療経営に関する知識、実践的な技能を体系的に学修できる社会人向けプログラム」を通じて、医療現場を経営の分野から支える人材を育成し、以て地域貢献に資することを目的としています。

4月27日の開講式では、同行の土屋諭常務取締役及び本大学の宮田淳理事長より、「日進月歩の医療分野で働く者として、常に視野を広げて考える医療経営士を目指していただきたい」との挨拶がありました。



土屋諭常務取締役からの挨拶



大友克之学長から受講者への教材授与

市民講座「エクステンション・カレッジ」

JR岐阜駅「ハートフルスクエアG」で受講も可能

本大学では、岐阜市、瑞穂市、岐阜県教育委員会、瑞穂市教育委員会、各務原市教育委員会、大垣市教育委員会の後援を受け、「朝日大学エクステンション・カレッジ」を穂積キャンパス及びJR岐阜駅に隣接する「ハートフルスクエアG」で市民講座として開講しています。

“生涯を通じた学び”や“学び直し”

エクステンション・カレッジでは、近隣地域の方々の「学ぶ気持ち」を大切に、気軽に受講していただける講座を用意しています。2023年度前期（5月～9月）は、下記をはじめとする11講座に、200名を超える方々から受講の申し込みをいただきました。



様々な学びを提供

〈エクステンション・カレッジ開講講座（一例）〉

将軍が愛でた園芸植物～古典園芸植物を楽しむ～／ラテンアメリカ文化を知ろう／自分の認知の癖を知って、ストレスと上手に付き合おう！／学び直し!!世界の歴史／教育勅語について考える／能・狂言と徳川家康など

看護学科・健康スポーツ科学科成績優秀者を表彰!

更なる高みを目指して

4月11日に「保健医療学部健康スポーツ科学科2022年度成績優秀者表彰式」が、また、4月13日に「同看護学科2022年度成績優秀者表彰式」が行われ、各学年成績上位の学生が成績優秀者として表彰されました。この表彰は、学生の学修意欲の向上と持続を図ることを目的に開催されています。

各学科長から表彰状と副賞が授与され、今年度も引き続き学修に励むようにと激励がありました。



健康スポーツ科学科の成績優秀者



看護学科の成績優秀者

歯学部課外セミナーを開催!

補完的、発展的なカリキュラム外の学習機会を提供

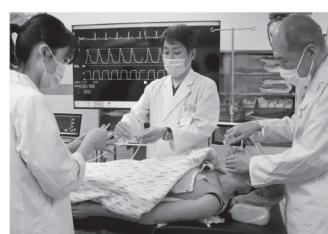
歯学部歯科医学教育推進センター主催で、2月7日～3月10日の期間に、5講座の「2022年度歯学部課外セミナー」が開催されました。

本課外セミナーは、カリキュラムの教育内容を基盤として、本大学歯学部学生の知識や技能の更なる向上を図ることを目的に、各分野にセミナー企画募集を行い、実現したものです。

学内外で実際に体験することで理解が深まった、普段なかなか話すことができない学年縦断的な交流や親睦を深めることができたなど受講者に好評で、非常に有意義なセミナーとなりました。



歯科用実体顕微鏡観察



マネキンを用いた全身麻酔導入実習



セミナー修了証の受領

「FD・SD研修会」を開催

2022年度第9回FD・SD研修会が、3月17日に穂積キャンパスで対面とオンデマンド配信を併用して開催され、約200名の教職員が真剣な眼差しで参加していました。

サイバーセキュリティ講座

第9回の研修会では、情報教育研究センター長の矢守恭子経営学部教授から学校現場における最近の情報漏洩事故例と本大学における対策状況について解説・説明されるとともに、岐阜県警察本部から講師2名をお迎えして、標的型メール攻撃やサイバー犯罪の被害についてご講話いただき、教職員はサイバーセキュリティ攻撃への対処方法や情報漏洩対策の留意点、具体的な方法等の知識を深めました。



たくさんの教職員が熱心に聞き入る

リピート率約90%と高い評価の健康診断

朝日大学病院総合健診センターは、生活習慣病の予防とがんの早期発見を目的に1994年に開設され、現在年間13,000名ほどの方々が人間ドックをご利用されています。利用者の男女比は3対2で、リピート率は90%以上と、利用者様より高い評価を得ていると自負しています。

高い健診技術と患者様に寄り添った健診に努める

「心のこもった質の高い健診を提供し、予防医学の発展に貢献する」という理念と、①安全で良質な健診の実践、②利用者の健康維持・増進、③生活習慣病の予防・改善のための保健指導の充実、④早期発見による健康の回復に貢献、⑤病院施設を完全に分離した形式による利用者のプライバシーの保護、といった基本方針に基づいて日々の健診を行っています。もちろん、利用者の権利も大切にしており、わかりやすい言葉で十分な説明を行うように努めています。

大学病院の付属施設として最新鋭の検査機器を用いることで高い健診技術を提供し、専門性を兼ね備えた常勤の各専門医が、精度の高い読影と判定を行っています。

何物にもかえがたい健康という財産を守るために、皆様のライフパートナーとして、コロナ禍以降も十分な感染対策を講じ、安心・安全な健診を提供して参ります。



朝日大学病院総合健診センタースタッフ

体育会総会を開催

朝日大学の名を世界へ

4月13日、穂積キャンパス6号館に680名の学生と指導者らが一堂に会し、体育会総会が開催されました。2002年に10種目でスタートした体育会は、今年4月に新体操部が加わり15種目へ拡大すると共に、数多くの全日本チャンピオンや公認会計士を輩出するなど国内外で目覚ましい活躍を遂げています。

総会では、大友克之学長及び山本英弘体育会長の挨拶後、体育会としての心構えやコンプライアンス、UNIVAS等についての説明に加え、体育会各部の紹介、学生代表者からの抱負が述べられ、体育会の一員としての自覚や責任ある行動等について改めて考える機会となると共に、各部が各自の目標に向かって努力し、互いに活躍することを誓いました。



満席の体育会総会会場

フェンシング 関西学生リーグで活躍!!

朝日のごとく輝け

体育会フェンシング部は「第72回関西学生リーグ戦」(4月15日～5月13日:京都府大山崎町総合体育館他)に参戦し、サーブルで男女アベック優勝、そして男子は総合優勝、女子は総合準優勝という素晴らしい成績を収めました。

パリ五輪を目指す卒業生を輩出している体育会フェンシング部の益々の活躍が期待されます。



サーブル男女でアベック優勝のフェンシング部

新体操 東海北信越学生選手権大会で個人総合優勝

部へ昇格早々の大活躍!

体育会新体操部は4月22日・23日にOKB体操アリーナ(岐阜県安八郡安八町永取)で開催された「第70回東海北信越学生体操選手権大会」個人総合において、優勝・3位・4位・6位と表彰台をほぼ独占する素晴らしい成績を収めました。今年4月に部へ昇格して早々の大活躍。新生新体操部へのご声援をお願いします。



大活躍の新体操部メンバー

ゴルフ カレッジゴルフ日本選手権で 堂々の優勝

昨年4月に創部された体育会ゴルフ部の中道ゆい選手(健康スポーツ科学科2年)が、那須小川ゴルフクラブ(栃木県那須郡)で3月25日・26日に開催された「FUTURE CUP カレッジゴルフ 日本選手権 決勝大会」学生女子の部で見事、優勝に輝きました。また、中道選手は3月2日・3日に「第23回 ALL JAPAN 女子学生アマチュアゴルフトーナメント 2023 KOEI CUP」にも参加。総合9位と安定的な好成績を残しています。



優勝した中道ゆい選手

吹奏楽部 全日本コンテストで金賞受賞!

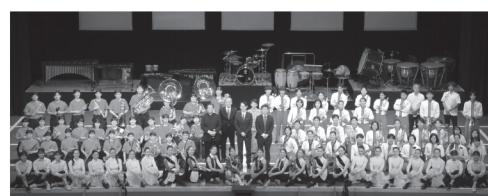
3月19日にアクティシティ浜松(静岡県浜松市)で開催された第46回全日本アンサンブルコンテストにおいて、木管三重奏の東海支部代表として参加した滝口七海さん(経営学部4年)、山田伊織さん(法学部3年)、古川由衣さん(法学部4年)の3名が、見事、金賞を受賞しました。なお、大学の部で金賞を受賞したのは本大学と神奈川大学、龍谷大学の三大学でした。



木管三重奏のメンバー

観衆を魅了する「春のコンサート」

体育会吹奏楽部は5月14日に、瑞穂市ココロかさなるCCNセンターサンシャインホールで「第2回春のコンサート」を開催しました。本大学の演奏を皮切りに、岐阜と沖縄の高校生によるマーチングバンドの踊りと演奏もあり、約1,500名の観客を魅了しました。



岐阜と沖縄の高校生マーチングバンドとともに



観衆を魅了する歌と踊り

NEWS

2022年度 事業報告及び決算

2022年度学校法人朝日大学事業報告及び決算が確定しました。
詳細は以下のとおりです。

事業報告

1 優秀な学生の受入れ(2023年度入学生に係る募集結果)

全国の私立大学284校(47.5%)が入学定員を充足できていない状況の中、受験生や保護者に、本学の教育・研究活動の質の保証と向上への取り組みや魅力を効果的な広報活動を通じてアピールし、朝日大学ブランドの向上を図りました。その結果、全体で入学定員を超える706名の優秀な入学生を受け入れることができました。

2 教育・研究活動の質の保証と向上

効果的な教育・指導とともに、教育課程の体系化の推進、学修成果の把握、教職員の資質向上のためのFD・SD活動の強化等に努めました。

法学部、経営学部では、公務員試験に61名が合格、また、公認会計士試験(論文式試験)に6名(9年間で計56名)が合格しました。

歯学部では、総合的な歯科医師としての資質向上とともに歯科医師国家試験対策に力を入れました。歯科医師国家試験では、新卒者86名が受験し、74名が合格、合格率は86.0%(私立歯科大学17校中4位)の成績でした。

保健医療学部看護学科では学生個々のレベルに応じたきめ細かな指導に努め、看護師国家試験に新卒者88名、保健師国家試験に9名が受験し、全員合格しました。歯科衛生士専門学校も歯科衛生士国家試験を受験した70名全員が合格し、継続して合格率100%を達成しています。

3 地域社会、ステークホルダー等への貢献

瑞穂市や岐阜市など近隣地域での公開講座の開催や、学内に設置した市民相談室などを通じて、地域住民へ本学の有する「知」の提供を行いました。

また、産業界と連携し、実務家教員による授業、インターンシップ、共同研究や受託研究等を推進しました。ほかにも、岐阜県弁護士会と協力の下、法教育に関するシンポジウムやジュニアロースクールの開催、高等学校に会計研究部の学生を派遣するなど、地域社会との緊密な連携を図りました。

4 国際化ビジョンに基づくグローバル化の推進

学生に国際感覚を身に付けさせるために海外研修等を実施しました。歯学部では、海外提携大学との間で、学生の短期海外研修派遣及び受け入れによる相互交流を実施しました。法学部、経営学部では、ベトナムでの短期海外研修を実施しました。保健医療学部では、看護学科がアメリカのコロラド及びテキサス、健康スポーツ科学科がハワイでの短期海外研修を実施しました。

また、高等学校英語弁論大会の開催など、地域の国際化にも貢献しました。

5 学生支援の充実

学生支援については、学業奨励奨学金やスポーツ奨励奨学金による経済的支援、スクールバスの運行や三医療機関における診療費補助等による生活支援などを継続して実施しました。また、「学生相談室」に専門員を置き、学生の「心」のケアにも努めました。

就職支援では、協力企業を対象とした「講演と懇親の会」や「就職セミナー」などを開催したほか、AGOでの学生への就職指導等を実施した結果、文系学部学生就職率は98.0%と高い数字を維持できました。

6 社会人の学び直し支援の充実

歯科医師の生涯研修として、歯科医療で世界を牽引するUCLA歯学部とのジョイントコースや歯科総合医育成コースにより実践的なリカレント教育を20年に亘り行ってきました。

地域住民への生涯学習として、医療機関に勤務するスタッフを対象とした医療経営士養成プログラム(文部科学省の令和元年度職業実践力育成プログラムに認定)や、市民のみなさまの生涯を通じた学び直しの機会を支援するため、多様な講座をそろえたエクステンション・カレッジを開講しました。

7 施設・設備の充実

教育研究機能の充実を図るために、文部科学省の補助金を活用した歯学部及び看護学科の教育基盤整備や医療人材養成のための設備の整備のほか、教職課程センターの改修工事、講義室等のLEDランプ取替工事を実施しました。冷暖房機器の更新やトイレの改修工事等も計画どおり実施しました。

8 法人運営の基盤強化

事業計画に基づき学生募集に全力を挙げるとともに、安定的な医療収入の確保や科学研究費助成事業、受託研究費、研究費助成金等の外部資金獲得、経費の節減等を図ることで、バランスのとれた収支の維持に努めました。

また、教職員の能力向上を図るため計画的なFD・SD研修会を行いました。

第52期決算報告書(2022年度) 2022年4月1日から2023年3月31日まで

資金収支計算書

単位:円

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	4,492,374,360	人件費支出	9,110,050,113
手数料収入	48,524,562	教育研究経費支出	6,855,208,244
寄付金収入	12,900,000	教育研究経費支出	2,624,743,397
補助金収入	1,822,553,933	医療経費支出	4,230,464,847
資産売却収入	41,184,755,324	管理経費支出	686,888,314
付随事業・収益事業収入	193,040,803	施設関係支出	618,389,853
医療収入	9,960,466,745	設備関係支出	602,724,245
受取利息・配当金収入	5,378,394,874	資産運用支出	51,016,538,865
雑収入	223,846,827	その他の支出	21,246,286,135
前受金収入	649,352,224	資金支出調整勘定	△ 1,109,523,479
その他の収入	24,248,241,940	翌年度繰越支払資金	7,373,674,120
資金收入調整勘定	△ 2,455,040,122		
前年度繰越支払資金	10,640,824,940		
収入の部合計	96,400,236,410	支出の部合計	96,400,236,410

事業活動収支計算書

単位:円

事業活動収入の部		事業活動支出の部	
学生生徒等納付金	4,492,374,360	人件費	9,220,891,261
手数料	48,524,562	教育研究経費	7,890,201,439
寄付金	20,937,026	教育研究経費	3,558,403,186
経常費等補助金	1,766,103,933	医療経費	4,331,798,253
付随事業収入	122,059,665	管理経費	694,940,276
医療収入	9,960,466,745	徴収不能額等	6,827,950
雑収入	223,846,827		
教育活動収入計	16,634,313,118	教育活動支出計	17,812,860,926
		教育活動収支差額	△ 1,178,547,808
事業活動外収支		事業活動外支出の部	
受取利息・配当金	5,378,394,874		
その他の教育活動外収入	70,981,138		
教育活動外収入計	5,449,376,012	教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	5,449,376,012
経常収支差額			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
資産売却差額	2,597,915,979	資産処分差額	2,127,427,773
その他の特別収入	72,911,905		
特別収入計	2,670,827,884	特別支出計	2,127,427,773
		特別収支差額	543,400,111
基金組入前年度収支差額			
基金組入額合計		4,814,228,315	
当年度収支差額		△ 3,494,398,191	
前年度繰越収支差額		1,319,830,124	
翌年度繰越収支差額		△ 8,075,499,298	
		△ 6,755,669,174	

貸借対照表

2023年3月31日 単位:円

資産の部		負債の部	
固定資産	176,949,142,772	固定負債	4,362,368,939
有形固定資産	26,756,971,015	流动負債	1,992,407,747
土地	11,495,023,466	負債の部合計	6,354,776,686
建物	9,792,240,495		
教育研究用機器備品	1,612,801,622	純資産の部	
その他有形固定資産	3,856,905,432	基本金	186,986,992,591
特定資産	140,269,868,939	第1号基本金	49,799,492,591
第2号基本金引当特定資産	15,000,000,000	第2号基本金	15,000,000,000
第3号基本金引当特定資産	120,907,500,000	第3号基本金	120,907,500,000
退職給与引当特定資産	4,362,368,939	第4号基本金	1,280,000,000
その他の固定資産	9,922,302,818	繰越収支差額	△ 6,755,669,174
流动資産	9,636,957,331	翌年度繰越収支差額	△ 6,755,669,174
資産の部合計	186,586,100,103	純資産の部合計	180,231,323,417
		負債及び純資産の部合計	186,586,100,103

*詳細は、本学HP (<https://www.asahi-u.ac.jp/inf/disc/f-jigyou>) をご覧ください。